



プリント配線板
メーカー

新旭電子工業株式会社

本社／高島市新旭町藁園2588 TEL. 0740-25-5333 https://www.s-asahi.co.jp/
創業／1980年12月10日 従業員数／292名(2022年1月現在)



会社見学可能です

どんな製品を作っている 会社なの?

電子部品をのせる台「プリント基板」を
製造しています。



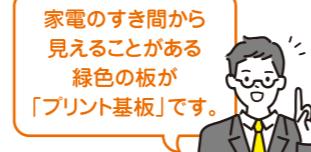
プリント配線板は半導体、抵抗、コンデンサなどの部品を搭載するボードのことで、電気で動くすべての製品に使われています。このプリント基板の種類には片面板、両面板、多層板(ビルトアップ工法含む)がありますが、新旭電子工業グループではすべてを生産できる設備、検査機を備えていて、高い技術をもつ社員たちが働いています。滋賀県では主に片面・両面板を製造しています。

プリント基板はどんなところに
使われているの?

片面・両面板が使われている
製品はこんなにたくさん!

例えば、みんなの暮らしの身近にある家電製品に使われています。

ガス給湯器 エリーデー LED照明 エアコンの室外機 リモコン 水洗トイレコントロールパネル
太陽光発電のパワーコンディショナー 車のメーター ガラスの開閉パネル オーバーヘッドコンソール
EV充電器 スマートメーター 監視カメラ 火災警報器 DVDレコーダー デジタルTV



どんなふうに作
られているん
だろう?

基板はすべてオーダーメイド(完全受注生産)で、
製品ごとに生産計画を立てて製造しています。

- ① 切断
国内外の専門メーカーから購入した材料をカット。
- ② NC(穴加工)
細かいドリルで基板に穴を開ける。
⇒検査
- ③ 銅めっき
表面と穴の中をめっきする。
- ④ 回路形成
特殊なフィルムを使って回路をつくる。
⇒画像検査
- ⑤ ソルダーレジスト
インクで、はんだが付くところ、付かないところを、印刷する。
(主に緑のインク)
- ⑥ 部品図印刷
指定された部品が、分かるように文字を、印刷する。
- ⑦ 外形加工
製品ごとの金型で基板をプレスし、仕様に合わせた形に。
⇒洗浄・乾燥
- ⑧ 電気回路検査
回路がきちんと形成されているかの検査。
- ⑨ 表面処理
お客様がはんだで取り付けられるように磨き、水洗・乾燥する
仕上げの工程。
- ⑩ 完成検査
仕様どおりか、変色やキズや欠けがないか、外観検査機と目視で検査。
- ⑪ 出荷検査
製品の規格、仕様通りに製造されているか、ロット毎に抜き取り検査。
- ⑫ 計量・包装・梱包
出荷数量を確認して包装・梱包し、お客様の指定日に合わせて出荷。

会社にはどんな部署があるのかな?

いろんな部署の主な
仕事内容をご紹介します。



総務部

人事、福利厚生、安全衛生を含めた会社全体を管理する部署です。課題対策や教育、地域社会との交流も推進しています。

経理部

資金の調達や返済計画、いろいろな支払い決済を行う部署です。

営業部

プリント配線板営業士の資格をもつ社員が、受注した製品の仕様を技術部に手配します。

技術部

受注品が生産できるかの判断、お客様と設計基準の調整、治工具の準備など。プリント配線板設計技能士や、製品の品質をチェックしてクレームに対応する品質管理係も所属しています。

生産管理部

納期に合わせて製造部に生産を依頼し、材料の手配なども行います。

生産技術部

エネルギー管理士や第三種電気主任技術者などの資格をもつ社員が設備の調達、手配、搬入、メンテナンスを行っています。

システム部

会社全体のパソコンやネットワークの管理、各部署で使うシステムの開発やメンテナンスなどを行います。

工場・製造部

プリント配線板製造技能士が生産計画に沿って製造します。設備メンテナンスや水質管理業務は24時間体制で稼働しています。

SDGsの取り組みは?

新旭電子工業グループの
SDGs推進事例を紹介します。



太陽光発電設備を
導入

発電した電力は工場内で自家消費しています。最大発電150キロワット!
CO₂削減に、取り組んでいます。

家庭ごみの
資源化を推進

家庭内のダンボール・アルミ缶・スチール缶・雑誌・新聞紙を有価物として回収しています。

SDGs公認
ファシリテーター資格を取得

公認のファシリテーター6名が中心となって2021年度より、社内・外のSDGs研修を実施しています。

働く人の声を聞いてみよう! Q&A

AM
●生産状況の確認
●会議や打ち合わせ
●廊下の掃除 etc...

休憩
掃除は上司が率先します!

PM
●現場の状況確認
●不具合品の処置
●発注等 etc...

工場・製造一課 課長
石倉 健健 さん



AM
●朝礼
●外形加工作業

休憩

PM
●昼礼
●外形加工作業

工場・製造二課 プレス係
大塚 和 さん



Q.やりがいを感じるのはどんな時?

仕事で大切なのはコミュニケーションと部下、仲間です。大勢の部下や仲間がいるからものを作ることができ、コミュニケーションから新しいアイデアが出てきます。すべてはうまくいかず失敗もありますが「なぜ起きたか?」「今後どうするか?」分析し、解決していくこともやりがいの一つ。社歴18年になり、かつての部下が部署リーダーとして立派に仕事をしている姿を見ると本当にうれしくなります。社員全員が同じ目標に向かい、難しい問題も一丸となって解決できる会社にていきたいです。

Q.この仕事を選んだきっかけは?

ウエイトリフティング競技を行っていて、スポーツに理解のある会社だと知ったことでした。

Q.やりがいを感じるのはどんな時?

入社してまだ10ヶ月ですが、地道な作業を繰り返す中で製品の特徴を理解できるようになりました、自分の技術の向上も感じられるようになったことです。

Q.この仕事を選んだきっかけは?

つねに品質を重視した生産を心がけていますが、良い品質を保ったまま生産量を上げていくことです。仕事だけでなく、競技でも良い成績を残したいです。